

べと病に強く収穫適期が広くとれる

予告品種

WN-LL750

PVP 農林水産省種苗登録 出願 第29283号

レタス

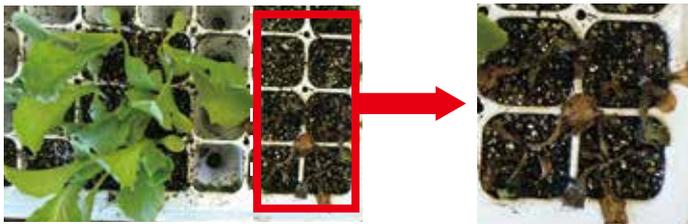


2015、16年の春作レタスは、育苗期間の湿度が高く、育苗ハウス内におけるべと病の被害が深刻で、その影響は本圃にまで及びました。また、例年4月以降は温度上昇期にあたり球内充実が急速に進むためレタスが過熟となりやすい時期でもあります。

弊社は、県西における春どりレタスの品種育成に当たり、①べと病に強いこと、②収穫適期までの早さは従来品種並みでありながら、内部充実の早さを抑え過熟になりにくいこと、この2点を念頭に開発を行いました。また、形状の安定性にもこだわりました。

「WN-LL750」の生産者メリット

①べと病に強く、作りやすい



「WN-LL750」と他社品種

べと病罹病の他社品種

「WN-LL750」はべと病に強く、育苗時又は、本圃においてもべと病罹病によるロスを抑えられます。

写真 「WN-LL750」vs対象品種（育苗時の様子）
「WN-LL750」のべと病発生率は極めて低い

②収穫適期幅が広く、温度上昇期でも過熟になりにくい



「WN-LL750」

他社品種

11月20日播種、12月24日定植、3月26日収穫

「WN-LL750」は、重さの乗りは早い割に過熟になりにくい性質を持ちます。

「WN-LL750」は球が重いのに写真のように内部にまだ余裕があります。

写真 { 「WN-LL750」vs他社品種
平均重712g VS平均重667g

③球は安定した豊円球で、球揃いが極めてよい



「WN-LL750」

他社品種

11月20日播種、12月30日定植、3月10日収穫

「WN-LL750」は球尻まで丸く、ラップしやすい形状で、且つ揃いが良いので収穫作業性・収穫の効率性が高いことが特長です。

茨城県西地区における最適播種期

最適播種期 11月中旬～2月上旬・最適定植期 12月中旬～3月上旬・収穫時期 3月中旬～5月上旬